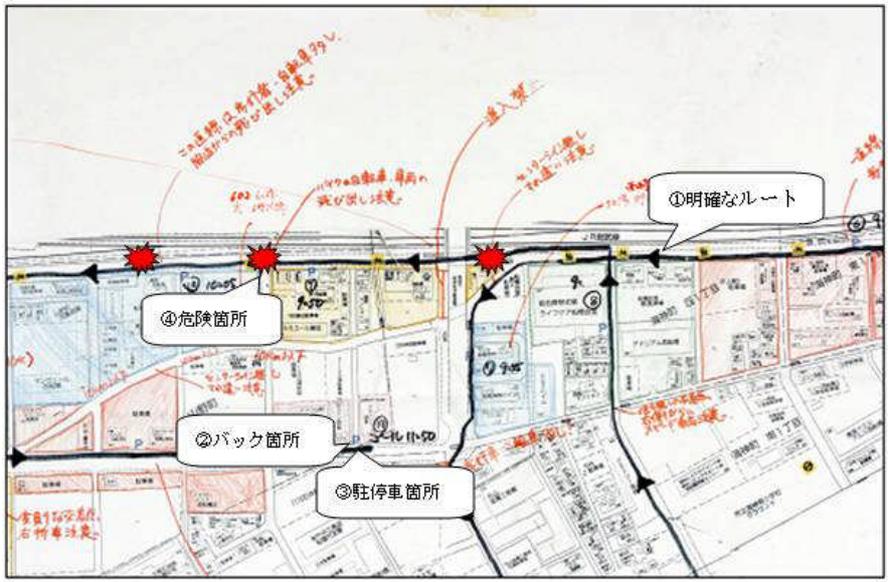


業 種	トラック
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用
テーマ	安全集配ルートマップの作成と事故データ分析システムの活用
取組の狙い	危険情報の共有によるリスクの最小化と事故防止対策の重点的实施
具体的内容	<p>1. ヤマト運輸(株)では、セールスドライバーがそれぞれの担当エリア毎に、見通しの悪い交差点などの潜在的な危険箇所、安全面・効率を考慮した駐車位置、危険度の高い右折を少なくするルートなどを書き入れた「安全集配ルートマップ」を作成しています。</p> <p>このマップは現在、同社が取組んでいるバス停方式(ルート内の決まった場所に停車し、そこから主として台車で集配を行う方法)の推進にも欠くことのできない要素となっています。</p>  <p>2. 担当エリア毎に安全集配ルートマップを作成することで、そのエリアを誰が担当しても同じ業務を行えるよう情報を共有化し、リスクの最少化を図っています。</p> <p>3. さらに、事故データ分析システムを新たにリニューアルし、2008年の秋の交通事故ゼロ運動(1970年以來、継続的に実施)において、過去1年間の自社の交通事故データを事故類型別、場所別、時間帯別、時季別、ドライバー年齢別等に分類・整理し、多発している事故事例(信号なしの交差点での衝突事故)を抽出しました。</p> <p>当該事故事例に対する事故防止対策を2008年秋及び2009年春の交通事故ゼロ運動における重点実施事項に盛り込み、重点的に対策を推進しています。</p>

	<p>重大事故については、中央安全衛生会議で対策等を検討・策定し、それらの結果を社内イントラ等で社内周知。過去発生した事故に対する再発防止策の実践状況や有効性・効果を内部監査等で把握しています。</p>
取組の効果	<p>安全確保に関するリスク管理とともに、セールスドライバーの安全意識向上、集配の効率アップにも役立っています。</p> <p>交通事故ゼロ運動において重点的な対策実施を図った結果、信号なし交差点での衝突事故発生件数が、2008年10月より半年間で前年比30%減少しました。</p>
事業者名	<p>ヤマト運輸(株) (連絡先:03-3541-3411)</p>